

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令で定められている設備基準を満たしております。生活事業所と共有スペースがありますが、適切に対応している。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		法令で定められている人員基準以上の職員を配置している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		食堂、トイレ、活動ルーム等はカーテンやパーテーションで仕切ることができるため、分かりやすい生活空間となっています。車椅子、バギー利用者が安全に過ごすことができるよう室内はバリアフリー化しています。掲示物や情報には写真等を使用し視覚支援を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		職員、外部業者により毎日清掃、室内の消毒を行い、清潔を保持しています。室内は生活介護事業との共有となるため、活動時は、利用児童に合わせた空間づくりを行っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		事務分担により業務を遂行し、反省を行い結果について職員で検証しています。職員間で随時話し合いを実施し、よりよい業務を行うことが出来るよう取り組んでいる。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表を基に保護者等の意向を把握し、日々のミーティングで職員間で情報を共有している。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		昨年度までは登録者不在のため、事業所職員向けの自己評価は行いホームページにて公開していた。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	法人監査を行っている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修、職場内研修に参加している。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		こどもと保護者のニーズを確認し、行動分析したうえで児童発達支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		事業所で策定したアセスメントツールを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		アセスメントを基に、健康状態、特性から適切な項目を選択し、児童発達支援計画を作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		年間計画を基に担当者が各活動担当職員と話し合いながらプログラムを立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		活動が固定化しないように、毎月新しい活動を取り入れている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		こどもの健康状態に合わせて支援計画を作成し、個別活動と集団活動を適宜に取り入れている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼でその日の活動内容、職員の動きについて打合せを行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		当日の支援の振り返りを終礼で行い、各職員の気付きを共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用児のサービス提供記録を通所時には確実に記録し、上司にも回覧し、支援の検証と改善を行っている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		8月に初めて登録があった為、定期モニタリングはまだ実施していない。しかし、支援計画作成時は、家族を交えての個別支援計画の評価、見直しの仕組みはできている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関と連携し、必要に応じて支援会議を開催し情報共有を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		住所地の福祉課、相談支援事業所、学校教育課、訪問看護など他職員と連携し支援を行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		主治医の指示書により医療行為を行っている。必要に応じて協力医療機関等と連絡を取る事ができる体制を整えている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		今年度8月に最初の児童が新規登録となったため、特別支援学校等との情報共有はまだ行っていない。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		上記同様に、支援学校との情報共有はまだ行っていない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修等、積極的に参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		コロナウィルス感染予防対策のため、交流の機会を設定できなかった。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		事業所が所在する地域の自立支援協議会に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎、お迎え時に直接保護者と話しをする他に、通所時は必ず連絡帳に日々の健康状態を活動状況を記述し、情報提供している。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		実施していない。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明し、同意を得ている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援計画の説明時、児童発達管理責任者から保護者に丁寧に説明している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的な面談時、送迎時に相談に応じている。また、必要に応じて助言と支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会はなく、利用者も1名のために保護者同士の連携をまだない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者からの相談は随時受け付けており、迅速に対応している。相談体制については、契約時に保護者に文書にて説明している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		偶数月におたよりを発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		契約時に個人情報の取り扱いに関する同意書を取り交わしを行っている。また、個人情報の取り扱いに関する事業所のマニュアルを作成している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		送迎時及び連絡帳等で情報共有を行うほか、口頭で支援技術を伝えている。
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		登録利用者がいないため未実施だが、療育センター全体の行事に地域住民の参加を呼びかけている。ボランティア受け入れの仕組みもある。（新型コロナウイルス感染予防対策により現在は受け入れを中止している。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		事業所内のマニュアルを作成し、訓練や職場研修を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年間防災計画を立て、計画的に毎月訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか			契約時に保護者に確認し、情報提供を書面で頂いている。服薬内容が変更になった都度の情報提供を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在、指示書のある対象児童はいないが、療育センター内の栄養士、給食担当との連携により、アレルギー対応食の提供は可能である。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		法人のリスクマネジメント実施要綱に基づき、発生の都度インシデント・アクシデントレポート通して職員間で確認、対策を検討し情報共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部研修、職場内研修に参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		法人の虐待防止要綱及び身体拘束等取扱要領に基づき、ご本人の状況について家族との確認、同意書を交わしている。職員間での定期的な振り返りを行っている。